

英国教育体験プログラム

UCL-Japan Youth Challenge Art 2020

参加校募集要項

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) という大学をご存知でしょうか。UCL は世界の大学ランキングでトップ 10 に入る大学で、日本と非常に素晴らしい歴史的なつながりを持っています。例えば、初代内閣総理大臣伊藤博文、初代外務大臣井上馨、初代文部大臣森有礼、五代友厚、夏目漱石、最近では小泉純一郎元首相が UCL へ留学しています。


我々は次の世代の世界的なリーダーを育成することを大きな目的とした、「UCL-Japan Youth Challenge」を 2015 年度から始めました。この夏のプログラムは、優秀な高校生に参加していただくサマースクールです。このプログラムを通じて、日本そして世界の将来を担う若い高校生が世界の問題意識に触れ、世界の最先端で研究を行う研究者等と交流し知見を深め、150 年程前に UCL へ留学した日本人のように将来グローバルに活躍する人材として育つ契機になることを期待しています。実際、毎年参加者の約 1 割の日本の高校生が UCL、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学などの英国やアメリカの大学に進学しています。

この度、芸術の分野に特化した春のプログラム「UCL-Japan Youth Challenge Art 2020」を 2020 年 3 月 27 日（金）から 4 月 2 日（木）までの 7 日間、英国・ロンドンで開催します。講義・ワークショップ、英国の芸術大学訪問、美術館・博物館訪問を通し、芸術の分野で世界を率いる英国の大学に進学する可能性を見出していただくことを期待しています。

春に、皆様とエキサイティングな時間を過ごすことを楽しみにしています。

敬具

主催 UCL-Japan Youth Challenge Art 実行委員会

A handwritten signature in black ink, reading 'Shinichi Ohnuma' in a cursive script.

Professor Shin-ichi Ohnuma 大沼 信一

UCL Institute of Ophthalmology

UCL-Japan Youth Challenge Art実行委員会代表

UCL's Japan Ambassador

11-43 Bath Street, London EC1V 9EL United Kingdom

Tel: +44 (0)20 7608 6803

Email: s.ohnuma@ucl.ac.uk

概要：英国教育プログラムは、今後の日本の将来を担う若い優秀な高校生が、7日間英国に滞在し、芸術の分野で世界をリードする大学である UCL Slade School of Fine Art や Royal College of Art、University of the Arts London を訪問し、在英日本人アーティストによる講義を通し、彼らの将来の選択肢の中に世界という視点を加えることを目的にしています。

期間中は在英日本人アーティストによる講義、UCL Slade School of Fine Art でのワークショップ、英国の芸術大学訪問、美術館・博物館訪問を行います（下記プログラム内容参照）。

また、期間中はロンドン市内に滞在し、身をもって世界をリードする英国の学生生活を経験してもらいます。このプログラムを通して、彼らが将来国際社会のリーダーとなる契機を与えられれば幸いです。

プログラム日程：2020 年 3 月 27 日（金） — 2020 年 4 月 2 日（木）

日本到着は 2020 年 4 月 3 日（金）です。

開催場所：英国・ロンドン（UCL）

宿舎：ロンドン市内のホテルに宿泊（6 泊 7 日）

参加枠：高校生（全学年対象）10 名

応募資格：次の 2 つの要件を満たす高校生

1. 2020 年度時点の高校 1 年生、2 年生及び 3 年生
2. 英検 2 級以上保持者又はそれと同等の英語力を持つ者を推薦できること

選考基準：基本的に各高等学校の先生方にお任せいたしますが、下記を選考基準の参考としてください。

1. 将来的に海外留学や国際的な職業に興味があること
2. 積極性、協調性、チャレンジ精神があること
3. 国際交流に興味があり、世界へ発信しようとする意欲をもちあわせていること

参加費：高校生一人あたり£3,000

参加費に含まれるもの：宿泊費、食費（自由時間中含まない）、現地交通費（自由時間中含まない）

参加費に含まれないもの：上記以外全て（例：日本国内交通費、往復航空券・航空保険料・燃油サーチャージ、日本・現地空港諸税、国際観光旅客税、超過手荷物料金、自由時間中の食費や交通費、任意参加アクティビティー費用、パスポートやビザ（該当する場合）の取得費用、海外旅行保険料等）

参加者への特典：

1. UCL-Japan Youth Challenge Art からの推薦状発行

優秀な参加者には UCL-Japan Youth Challenge Art より UCL 大学入試の際、推薦状を発行する

2. メンター制度

本プログラム参加後に UCL Foundation Course や Undergraduate Course へ進学した学生には在英日本人教官による年 4 回程アドバイスを受けられるメンター制度を活用できる

応募方法：参加申し込みは個人での申し込みとなります。2020 年 1 月 31 日までに下記応募様式にてメールでお申し込みください。また、高等学校での国際化等への取り組みについて A4 用紙 1 枚にまとめたものを提出してください。

【応募様式】

宛先：wtage@japanatuk.com

CC： hmiyahara@japanatuk.com

s.ohnuma@ucl.ac.uk

題名：UCL-Japan Youth Challenge Art 2020 参加申し込み

本文：

 [高等学校]

 学校名：

 所在地：

 電話番号：

 ウェブサイト：

 [担当教員]

 氏名：

 電話番号：

 メールアドレス：

 [参加者]

 氏名：

 電話番号：

 メールアドレス：

参加者の選考：参加者の選考は様々な指標をもとに行い、全国から広く参加していただければと考えています。参加者の決定は2020年2月中旬までに行います。

参加費納入：当プログラムへの参加が決定した方は、2020年2月末までに参加費の納入をお願いいたします。納入方法詳細は、参加決定後にご案内申し上げます。

備考：

- 応募書類は一切返還できません。
- プログラムの日程や内容、会場などは変更になる場合もございますので、予めご了承ください。

- キャンセルは基本的に認められません。プログラムへの参加決定後にキャンセルをされた場合、参加費用の返金は認められません。
- お申込書記載の個人情報は、UCL、日英機構、JAPAN AT UK LIMITED 間で共有されます。また、本イベント中の活動に関し、撮影・録音された学生の写真・動画・音声・著作物は、印刷物、インターネットなどあらゆる媒体においてこのプログラムの目的の範囲内で、自由に無料で使用されますが、別目的で使用することはありません

主催：UCL-Japan Youth Challenge Art 実行委員会

共催：UCL (University College London)

UCL-Japan Youth Challenge Art 実行委員会事務局：JAPAN AT UK LIMITED

担当： タゲ (wtage@japanatuk.com)

宮原 (hmiyahara@japanatuk.com)

プログラム内容：

1 日目：2020 年 3 月 27 日（金）

- 英国・ロンドン到着

2 日目：2020 年 3 月 28 日（土）

- 開会式
- ロンドンを拠点に活躍する日本出身のアーティストによるパネルディスカッション・現役大学生（芸術専攻）によるトーク
- UCL キャンパス見学
- 大英博物館見学

3 日目：2020 年 3 月 29 日（日）

- テートモダン見学
- 在英日本人アーティストによる講義・スタジオ見学

4 日目：2020 年 3 月 30 日（月）

- 在英日本人アーティストによる講義・スタジオ見学
- Royal College of Art 訪問
- Victoria & Albert Museum 見学

5 日目：2020 年 3 月 31 日（火）

- UCL Slade School of Fine Art 訪問
- 在英日本人アーティストによる講義
- UCL Slade School of Fine Art ワークショップ

6 日目：2020 年 4 月 1 日（水）

- Central Saint Martins, University of the Arts London 訪問
- ロンドン市内観光
- 修了式

7 日目：2020 年 4 月 2 日（木）

- 日本帰国

その他：

- 参加高校生には参加決定以降に予め予習・準備のための宿題が出ます。
- プログラム期間中は複数の関係者が 24 時間帯同します。